

ブラジル向けに輸出される水産物に関する証明書の発行について

平成23年 7月19日
水産庁九州漁業調整事務所

「ブラジル向けに輸出される水産物に関する証明書の発行について」平成23年6月30日付け水産庁長官通知23水漁第566号に基づき、水産庁九州漁業調整事務所(以下「九州漁業調整事務所」という。)で証明書を発給する手続きは、当分の間、次のとおりとします。

第1 本手続の対象となる水産物

我が国からブラジルへ輸出される水産物

第2 九州漁業調整事務所で証明書を発行する水産物の要件

下記1、2のいずれかの要件を満たす水産物に証明書を発行することとする。

- 1 山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県の漁業者が山口県及び九州海域で漁獲した水産物（加工品は除く）。
- 2 上記1以外の都道府県の沿岸域で採捕され、かつ水揚げされた水産物（放射能検査を要するもの、冷凍品及び加工品は除く）で積出地が九州北部の港等であるもの。

※ 積出地が九州南部の港等となる場合には、地理的な問題もあり港等がある県で対応されることが望ましい。

放射能検査を要するもの、加工品及び上記2の冷凍品については、水産庁漁政部加工流通課で受け付ける。

第3 証明申請手続

- 1 証明書の発行を申請する者は、以下の（1）から（3）まで及び必要に応じ（4）に掲げる書類を九州漁業調整事務所に提出する。
 - （1） 証明書発行申請書（別記様式1）
 - （2） 必要事項を記入した別記様式2
 - （3） （2）の記載事項を確認することができる書類
 - （4） 第2の2に該当する場合は、公的機関（都道府県又は水産庁本庁）が産地を証明する書類
- 2 九州漁業調整事務所は、上記1の内容を確認の上、別記様式2により、証明書を発行する。

第4 申請先

水産庁九州漁業調整事務所（Tel 090-4349-5753）

注) ブラジル側に証明書を提出する際にはポルトガル語訳を添付する必要がある。
ブラジル政府から要求されているポルトガル語訳の様式は、証明書発行後、輸入業者が記

載し、ブラジル政府に提出する必要がある（別紙フローを参照）。

(別記様式1)

ブラジル向け輸出水産物に関する証明申請書

年 月 日

九州漁業調整事務所長 殿

申請者 住所

氏名

印

私は、「ブラジル向けに輸出される水産物に関する証明書の発行について（平成23年6月30日付け23水漁第566号水産庁長官通知）」別記様式2について確認をお願いしたく、別添のとおり、関係書類を添付して申請します。

なお、上記証明書については、法令に基づく措置ではないことにつき了解しており、当該確認を行ったことに基づき、証明書発行機関及び証明者に対し何らかの請求を行う権利を有しないことを確約します。

問合せ先

会社名

電話番号

担当者名

(別記様式 2)

Declaration for the import into Brazil

of food(s) from Japan

Consignment Code..... Declaration Number JS40 -BR-.....

Kyushu Fisheries Management Office, Fisheries Agency, Government of Japan
8-1 Okihamamachi, Hakata-ku, Fukuoka-shi Fukuoka-ken 812-0031(competent authority)

DECLARES that the Food(s) (products) of this consignment composed of :.....
.....
.....(description of consignment, product, number and type of packages, gross or net weight)

which comes from the establishment
.....
..... (name and address of establishment)

embarked at
..... (embarkation place)

going to
.....
..... (identification of importer)

- has been harvested and/or processed before 11 March 2011
- is originating from a prefecture other than Miyagi, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Chiba, Saitama, Tokyo, Niigata, Yamanashi and Nagano.
- is originating from the prefectures Miyagi, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Chiba, Saitama, Tokyo, Niigata, Yamanashi and Nagano, to determine the level of the radionuclides, iodine-131, caesium-134 and caesium-137, and the analytical results are in compliance with the maximum levels of the “Provisional regulation value of radioactive materials in food in accordance with the Codex Standard (193-1995). The analytical report is attached.

Done at : Kyushu Fisheries Management Office Fisheries Agency of Japan on _____

Mr. Yasuo Fukuda
Director
Kyushu Fisheries Management Office
TEL +81-92-273-2000 FAX +81-92-262-1930

Stamp and signature of authorized representative of competent authority

(別記様式2 輸出証明書の記入例)

Declaration for the import into Brazil

of food(s) from Japan

① B/Lナンバー又は INVOICE ナンバー等を記載。 ② 九州漁業調整事務所で記入。
Consignment Code..... Declaration Number JS40-BR-.....

Kyushu Fisheries Management Office, Fisheries Agency, Government of Japan
8-1 Okihamamachi, Hakata-ku, Fukuoka-shi Fukuoka-ken 812-0031(competent authority)

DECLARES that the Food(s) (products) of this consignment composed of :.....

③ 具体的内容、包装形態、数量、重量等を記載。(複数品目の場合は、「See ANNEX」と記載し、
同内容を含んだ別紙を添付する。)

.....(description of consignment, product, number and type of packages, gross or net weight)

which comes from the establishment ④ 生産地又は加工場の名前及び住所についての情報を記載。

(生産地等が複数にわたる場合は③と同様に、「See ANNEX」と記載し、同内容を含んだ別紙を添付す
る。)

..... (name and address of establishment)

embarked at ⑤ 日本からの出港地を記載。(embarkation place)

going to

⑥ 「輸入業者名」、「輸入業者の納税登録番号 (CNPJ)」、「輸入業者」の住所を略せず記載。

..... (identification of importer)

⑦ ⑧の□にチェック (九州漁業調整事務所で行う証明は⑧だけ。(加工品は除く。))

has been harvested and/or processed before 11 March 2011

is originating from a prefecture other than Miyagi, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma,
Chiba, Saitama, Tokyo, Niigata, Yamanashi and Nagano.

⑧ 輸出する産品が宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、新潟県、山梨県、長野県以外で収穫されたものの場合、□にチェック。

is originating from the prefectures Miyagi, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Chiba,
Saitama, Tokyo, Niigata, Yamanashi and Nagano, to determine the level of the radionuclides, iodine-
131, caesium-134 and caesium-137, and the analytical results are in compliance with the maximum
levels of the “Provisional regulation value of radioactive materials in food in accordance with the
Codex Standard (193-1995). The analytical report is attached.

Done at : Kyushu Fisheries Management Office Fisheries Agency of Japan ⑨ 九州漁業調整事務所の日付を記載。
on

⑩ 九州漁業調整事務所サイン。

Mr. Yasuo Fukuda

Director

Kyushu Fisheries Management Office

TEL +81-92-273-2000 FAX +81-92-262-1930

Stamp and signature of authorized representative of competent authority

※なお、ANNEX が、複数枚になる場合は、通し番号を付けなければならない。

また、ANNEX 等の別添資料の全頁下部には、証明発行者によって、イニシャルサインとして

” ANNEX NO ● 担当者のイニシャル” を記載する。

(別紙)

ブラジル向けの証明書の発行手続きのフロー

